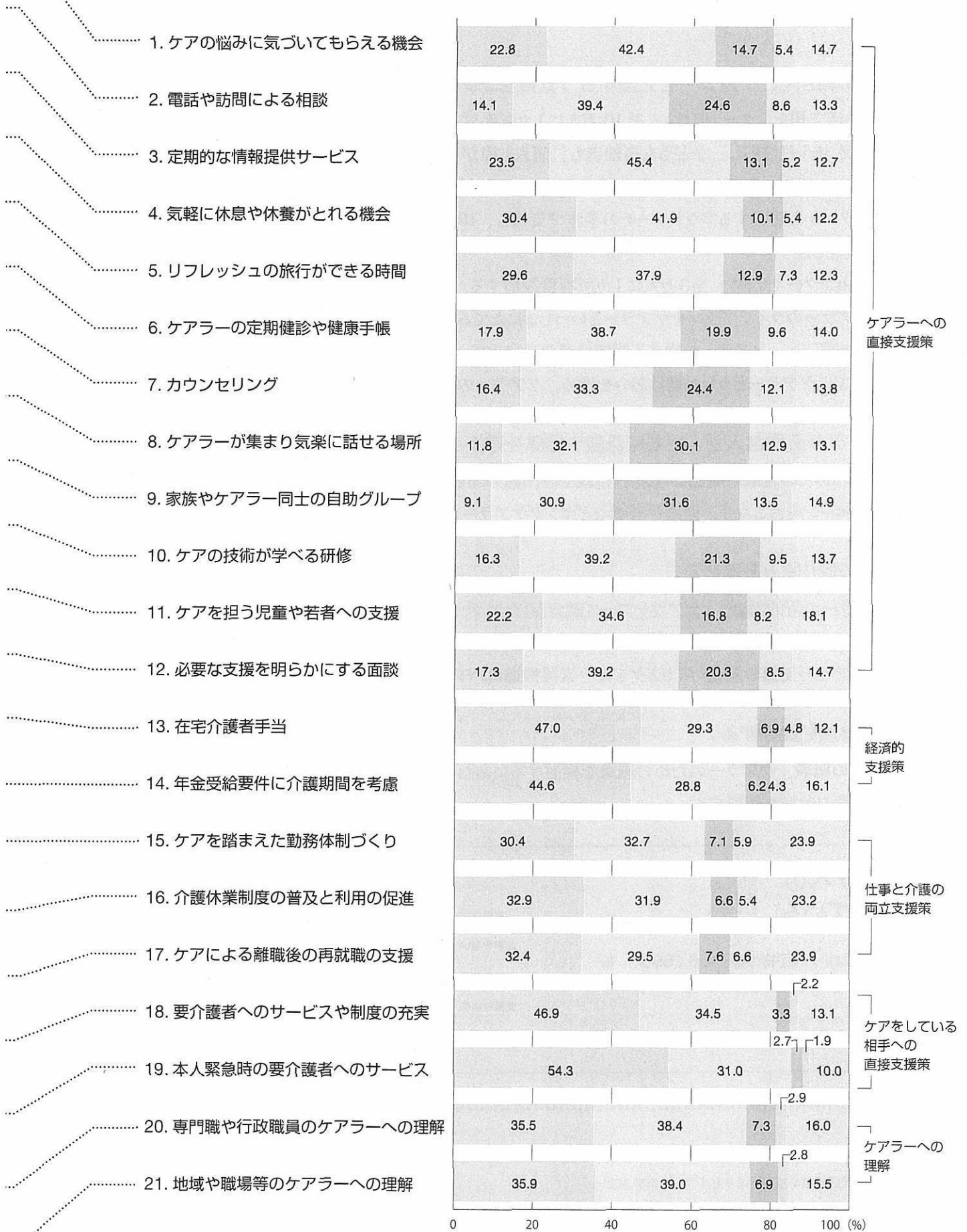


# ケアラー自身がほしい支援 (ケアラー/回答者1,734人)

■ とてもほしい ■ まあまあほしい ■ あまりほしくない ■ 全くほしくない ■ 無回答



回答者が1,734人であるのは、1～21まで全て無回答の回答者を除いたためである。

# ケアラーの願いを実現するための 4つの提言

## 1. 地域に、きめ細かく、ケアラーを支援する「支援センター」をつくる。

●「包括的地域生活支援センター（仮称）」を10万人に1カ所程度設置する。センターは、地域のすべての住民に開かれており、24時間365日対応し、子どもも高齢者も、病人も障がい者も、それらの人をケアするケアラーも区別なく、助けを必要とする人の個別・多様な生活を総合的に受け止め、包括的に支援する。困っている人が来るのを待っているのではなく、センターから訪問するアウトリーチの手法で支援し、10名程度の多職種専門家チームのうち1名はケアラー支援専門員を配置する。

●「ケアラー支援センター（仮称）」を3万人に1カ所程度設置する。センターでは、ケアラーの相談に乗り、アセスメントをおこなってケアラーのライフプランをケアラーといっしょにたてる。ケアラーはセンターに自由に集まり、情報交換やレクリエーションを楽しみ、ケアラーの抱える問題の解決に向けて、カウンセリングを受けたり、仕事の紹介など必要なサービスに結び付く。ケアラーどうしが助けあいを進め、ケアラーの抱える問題や政策提言などを発信する。

## 2. ケアラーとケアが必要な人が、ともに尊厳や健康を守り・社会生活を送れるようにする。

ケアラー支援についての地域や職場の理解、行政や専門職の理解をすすめ、支え合う地域社会の再構築のために国民レベルのキャンペーンをおこなう。児童や若者などヤングケアラーの支援のためには、学校と連携する。

## 3. 国と自治体の取り組みを進める。

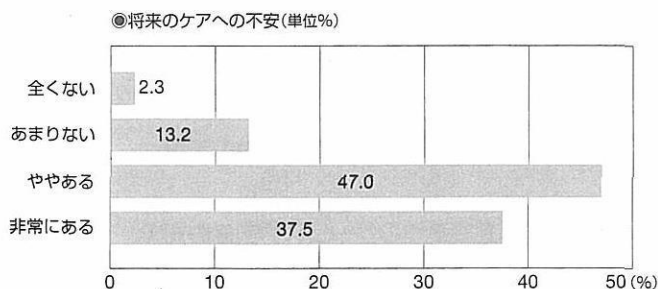
「定期的なケアラーの量的調査」「ケアラーニーズ調査」「ケアラー支援政策の策定」「ケアラー支援基準の作成」「ケアラー支援ツールの開発」「市民協働によるケアラー支援体制および推進体制の構築」「ケアラー支援推進法（仮称）の制定」など、ケアラー支援の基盤づくりとケアラー支援推進のバックアップを行う。

## 4. ケアラーの参加を保障する。

ケアラーのための施設、ケアラーのための施策を検討するにあたっては、ケアラーの実態と希望に即したものにするため、ケアラー自身の参加を保障する。

### だれでもケアへの不安を抱えている

現在ケアをしていない人（回答のあった6,269人）も70.3%が将来のケアへの不安を表明しています。



#### ■編集・発行

NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-25-3 エクセルコート新宿302

Tel:03-5368-1955

Fax: 03-5368-1956

Web:<http://www12.ocn.ne.jp/~arajin/>

E-mail: [arajin2001@minos.ocn.ne.jp](mailto:arajin2001@minos.ocn.ne.jp)

事務局：火～金 11時から18時

#### ■協力

ケアラー（家族など無償の介護者）連盟

#### ■発行日

平成23（2011）年3月